



真保家の田んぼ 順調に育っています



茎もしっかりしてきました

二十四節気 **芒種** ぼうしゅ - 穀物の種まきをする頃
芒(ノギ)とは稲の穂先のような穀物のこと

田植えから約1ヵ月が経ちました。

少しずつ分けつも始まり、緑が色濃くなり、水面が見える面積も当初からは少なくなってきました。近年の国産小麦の需要の高まりもあり、当社近辺の田んぼでも小麦が栽培されているのを見かけるようになりました。

小麦を栽培しているところは、大豆と小麦の二毛作をしており、秋に大豆を収穫した後に、種まきをし、今月中旬から下旬にかけて刈り取りが始まります。

先日、当社近くの生産者の矢部さんのところへ伺いました。

矢部さんは、お米の他にル・レクチェと日本梨、シャインマスカットを栽培しています。

稲の方は、田植えから1ヵ月が経過し、今のところ順調に育っており、少し手がかからなくなりましたが果物の作業が忙しくて大変だと話しておられました。1ヵ月ぶりにル・レクチェとシャインマスカットの生育の様子を見させてもらいましたが、以前見た時よりも、どちらもだいぶ実が大きく生長していました。ル・レクチェは、これから袋掛けの作業が始まるとのことでした。



小麦の圃場



シャインマスカットの房



もうすぐ袋掛けのル・レクチェ

私は今、農産物検査員の資格を取得するために新潟県農産物検査員育成研修会に参加しています。

先月28日から研修が始まり、今月21日の最終試験まで各週3～4日研修を受講させてもらっています。

最初の2日間は、座学研修で農産物検査の意義や手順について学び、3日目からは、実技研修が始まり玄米の等級をつける模擬試験や、整粒・未熟粒・被害粒等に分ける分析をしています。

また、新潟県の必須銘柄であるコシヒカリ・こしいぶき・ゆきん子舞の品種を見極めるといったことを学んでいます。



玄米の分析

今回受講している方の中には、生産者の方も多く、新潟県内各地から集まっているので、生育の様子や栽培方法など聞かせて頂いています。

特に平地だけでなく山間部の方にも作付けをしている生産者の方の話では、今年は雪が少なかった影響で、山からの水が少ないといった話もあり、代掻きをする段階で、溜め池の水も使用した箇所もあるといった状況も聞かせてもらいました。もうすぐ梅雨に入りますが、夏に水不足にならないよう適度に雨が降ってほしいと話しておられました。

今週は晴れマークが多い新潟です。先日、出荷契約書を受け取りに農家さんの家へ向かっていると、白根大凧合戦の幟を見かけました。私はもう何年も観戦しに行けていないのですが、今年は観に行きたいなと思っています。

南区の伝統行事の白根大凧合戦は今週6日から10日まで5日間開催されます。



大凧を揚げる様子



大凧合戦の幟

開催期間の天気予報は、雨予報が無く天気も良さそうなので、観に行く方は気持ちよく観戦することができそうです。

<https://www.shironekankou.jp/takogassen2024/> 令和6年白根大凧合戦特設ページ